

北海道羅臼高等学校 通信 No9 R3.5.27



1年必修「コミュニケーション英語 I」の授業

- 1 教科 コミュニケーション英語 I (1年必修、3単位)
- 2 担当者 教科担任：小林俊樹 (教諭、教務部、1A副担任、バドミントン・テニス部顧問、2年目)
羅臼に赴任してから「釣り」が趣味となった。
ALT: KRISTIN GRANDOLFO (クリスチン グランドルフォ)
根室教育局所属のALTとして中標津高校をベースにし、別海・標津・羅臼高校の授業に定期的に担当している。
米国シカゴ市から来道して2年10ヶ月目である。
文化人類学を専門としており、趣味はお菓子作りとガーデニングである。
- 3 本授業 単元は pre-lesson 1で、ALT のサポートがあるので、英語での自己紹介のパターンを実践形式でおこなった。



隣の生徒と英語で自己紹介をしている。
三河さんはクリスチンとペアを組んで会話レッスンしている。

コミュニケーション英語 I					
学年・形態	1 学年・必修	教科書	(東京書籍) All Aboard! English Communication I		
単位数	3 単位	副教材	なし		
科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、情報や話し手の考えなどを正確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容	情報や話し手の考えなどを理解したり伝えたりすることを実践し、具体的な言語の使用場面を想定して様々な言語活動を英語で行う。				
評価の方法	①関心・意欲・態度 10% ②思考・判断・表現 25% ③技能 35% ④知識・理解 30% 以上①～④の合計を評価点とする。評価点が30未満の者は評価及び評定を1とする。				
評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	対象	・授業内活動の取り組み ・課題の提出	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・小テスト
S	主体的・積極的に言語活動に取り組んでおり、表現や知識の習得に結びついている。	情報や考え等を適切に理解し、誤りなく伝えることができる。	発展的な文法を使用したり、解釈したりすることができる。	発展的な語句や文法的知識を理解し、使用することができる。	
A	主体的・積極的に言語活動に取り組んでいる。	情報や考えを理解し、おおよそ伝えることができる。	基礎的な文法を使用したり、解釈したりすることができる。	基礎的な語句や文法的知識を理解し、使用することができる。	
B	概ね主体的に言語活動に取り組んでいる。	情報や考えを理解し、伝えることができるが誤りや情報の不足が目立つ。	誤りがあるものの、基礎的な文法を使用したり、解釈したりすることができる。	基礎的な語句や文法的知識を理解している。	
C	授業や課題などに主体的に言語活動に取り組んでいない。	情報や考えを理解し、伝えることができない。	基礎的な文法を使用したり解釈したりすることができない。	基礎的な語句や文法的知識を理解していない。	
成績不振要注意者の基準		定期考査の得点が30点未満の者			

	単元名	主な学習内容
前期	pre-lesson1、2	・be動詞・一般動詞
	Lesson1	・過去形
	Lesson2	・進行形
	Lesson3	・助動詞
	Lesson4	・to不定詞
後期	Lesson5	・動名詞
	Lesson6	・受け身
	Lesson7	・現在完了形
	Lesson8	・形式主語
	Lesson9	・関係代名詞
	Lesson10	・比較表現

知床羅臼には、世界中から人が集まってきます。
英語は絶対必要となります。
みんなで頑張りましょう！